

文学部 アドミッション・ポリシー

■ 文学部

文学部では、人間社会の基本となる「ことば」を重視し、その学習を礎としながら、文化、文学、コミュニケーション、心理学、国際関係へと学びを拡げます。英文学科では英語に、心理・応用コミュニケーション学科では日本語に重きを置いていますが、両学科ともに、1) 作品、資料、現場などの情報源から問題の本質を見極める洞察力、2) 自分自身の考えを組み立てる論理構成能力、3) 自分の考えを他者にわかりやすく伝える情報発信能力を育むため、きめの細かいカリキュラムを整備しています。

しかし、主役はあくまでも学生諸君です。我々は、目的意識を持って自主的に学ぶ姿勢を備えた人を求めています。

■ 英文学科

英文学科では、英語を通して多様な文化・価値観・社会への理解を深め、自ら学び、考え、実践する力を育成することを目指している。英語という世界の共通言語を基盤として、それぞれの関心や目標に応じて学びを深め、多様な人々と協働できる学生を求める。

- AP1. 高等学校等において修得すべき基礎的な学力、特に英語、日本語による読解力・表現力、および論理的に考える力を身につけている。
- AP2. 英語を通して、言語・文化・文学・コミュニケーション・国際社会について主体的に学ぶ意欲がある。
- AP3. 多様な文化的・社会的背景を持つ人々との対話や協働に関心を持ち、他者との違いを尊重しながら学ぶ意欲がある。
- AP4. 自ら問いを立て、考え、議論しながら主体的・自律的に学び続ける意欲がある。
- AP5. 英語による実践的なコミュニケーション能力を高め、それを教育・地域社会・国際交流・職業など様々な場面で活かそうとする意欲がある。

■ 心理・応用コミュニケーション学科

- AP1. 自らの頭で考え行動して自分を表現するための前提として、高等学校までに習得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけており、コミュニケーションのツールとして言語活用能力を向上させたいという意欲がある人。
- AP2. 人の心や社会の動き、心理学や社会学に興味・関心があり、それらを実社会で生かすための実践的なコミュニケーション能力を身につけたいという意欲がある人。

AP3. 地域社会や国際社会、メディアの仕組みに関心があり、書籍や時事ニュース、映画などさまざまなメディアに主体的にアクセスし、自分の考えを表現する力を身につけたいという意欲がある人。